～文化の風が吹くまち　ちくしの～

文化薫道（ぶんかくんどう）

◆其の百二十四

ちくしのスピリット、ここに在（あ）り

令和8年度の文化薫道は、大きさ、形、絵などをテーマに、1年間お届けします。

写真は、3月に市内で42件目の指定文化財となった古文書「鉾之記（ほこのき）」です。幕末の安政4年（1857年）に、二日市村庄屋の鹿島 九平次（かしま くへいじ）が、偶然発見された甕棺墓（かめかんぼ）と副葬品を精巧な彩色の挿図入りで記録したものです。

▲鉾之記（挿図部分 筑紫野市歴史博物館所蔵）

二日市に弥生時代の有力者の墓があったことを示す重要な史料ですが、原本の所在は長い間知られていませんでした。

その原本が、令和4年に市内の高校生によって発見されたのです。授業でこの甕棺墓を調べ、作者の子孫を訪問したときのことで、文化財指定につながる大発見でした。

歴史は記録によって残ります。

「鉾之記」を残した鹿島 九平次と、それを再発見した高校生。ともに「ちくしの」に住み、あるいは活動する人たちの探求心が地域の歴史をつないだと言えます。

「鉾之記」は、知的好奇心を持ち、行動する精神、名付けて「ちくしのスピリット」が、時代を超え、ちくしの人に宿っていることを教えてくれます。

問 文化財課

発行／筑紫野市　編集／秘書広報課　ホームページ／https://www.city.chikushino.fukuoka.jp/
〒818-8686 福岡県筑紫野市石崎一丁目1番1号 ☎092(923)1111 FAX092(555)7377
印刷／久野印刷株式会社
発行部数／45,300部

筑紫野市公式SNS　フェイスブック　X(旧ツイッター)　LINE　Instagram